

平成 30 年 6 月 11 日 (月)

14:00～15:30

- 1 校長挨拶
- 2 委員委嘱
- 3 出席者紹介
  - (1) 各委員から自己紹介
  - (2) 学校側出席者自己紹介
- 4 鶴嶺高等学校学校運営協議会の設置及び運営について
  - 学校側より学校運営協議会の目的と組織について説明
- 5 会長、副会長の選任及び今年度の活動計画について
  - 会長選任 承認
  - (1) 副会長 2 名選任 承認
  - (2) 学校評価部会の委員選任 承認
  - (3) その他の学校設置部会について
    - 今年度中に事務局で設置を準備
- 6 本校の学校運営方針について
  - (1) 学校教育計画・学校目標及び教育課程について
    - ① 組織的な授業改善
    - ② 休みを確保しながらの部活動の運営
    - ③ きめ細かな生活指導 (スクールカウンセラー、教育相談の有効活用)
    - ④ P T A や地域の方々との連携
    - ⑤ 事故、不祥事の防止 (成績処理、テスト)
  - (2) 学校組織の編制について
    - グループの業務分担を改め、研究分野に力を入れた国際教育・研究グループを新設
  - (3) 学校予算の編成に関すること
    - 維持運営費、公立高等学校就学支援金事業費、旅費、県立高校改革事業費の説明
  - (4) 学校施設及び設備等の管理及び整備に関すること
    - トイレの改修工事等が今年度末から実施される。学校周辺の道路を通行する工事車両等が多くなることが予想され、工事の音なども出ると思われるがご理解いただきたい。

(5) 質疑

- 県立高校改革事業費はなぜあがったのか。
- G T E C の補助費が支払われたため。
- 予算は運営協議会で検討が必要なのか。
- 規則に定められており必要である。
- 公立高等学校就学支援金はなぜ減額されたのか。
- 今年度の予算がまだ計上されていないため。

7 本校の現状と課題について（報告）

(1) 学習支援グループより

- 授業時間数確保の観点から行事等を精選した
- 今年度の志願者数及び入学生の内訳について
- 事故防止のため成績処理の点検方法を検討

(2) 進路支援グループより

- 41 期生の卒業生 3 9 4 名の進路について
- 今年度の外部試験、模試、夏季講習について
- 44 期生から G T E C スピーキングテストを新たに導入

(3) 広報渉外グループより

- 今年度の広報計画について  
資料；平成 30 年度鶴嶺高校広報計画
- 第 1 回学校説明会を藤沢市民会館で実施予定

(4) 生徒支援グループより

- 部活動の活動状況について
- 今年度の生徒会行事について

(5) 国際教育・研究グループより

- 生徒による事業評価及び組織的な授業改善について
- 交流校訪問について  
資料；「第 1 回授業見学月間について」（職員会議資料）、姉妹校等訪問実施報告書
- 留学生受け入れ状況について

(6) 総務グループより

- 防災計画等について
- 本校火災時の避難場所指定について

## 8 意見交換

- 広報計画に書かれている行事が、実際に入学するとないという状況がおこっている。  
誤解のない広報活動をお願いしたい。
- 31年度抜粋版は行事訂正済みで配付する。
  
- 大学入試における民間外部試験の活用が最近話題になっているが対策はどうなっているのか。
- 44期生から一般入試に外部試験が活用されるため、新たにGTECスピーキングテストを導入した。
  
- 学校組織の6つのグループには何名ずつ関わっているのか。
- 最大17名、最少8名で全員がグループに所属している。
  
- 部活動の活動状況を見て、日本文化に関する部活動の部員は多くないように思われるが、部活動以外の場面で日本文化に触れる時間を持った方がよいのではないか。
- 海外交流校訪問の事前学習でも日本文化について調べる時間を持っている。他にも検討したい。
  
- 円蔵自治区では毎年防災訓練を行っている。要介護の老人が多いため、高校生の若い力を必要としている。
  
- 地域に役立つ若者の育成とこれからも特徴である国際交流に引き続き力を入れてほしい。
  
- 行政だけでは足りない部分もあるので、若い力を災害時などに地域の大きな力として活かしてほしい。
  
- 教育現場の状況の大変さを訴えていく必要がある。学校と地域がお互いに協力し理解しあう事が大切。

## 9 閉会のことば